

中道改革連合、これでいいのですか

山口 洋司

武器輸出全面解禁がすんなりと進んいく。国家情報局関連法案やスパイ防止法案などひとつ間違えれば限りなく人権を制限する法案の議論が始まっている、国旗損壊罪も後を控えている、そして改憲の論議もにわかに勢いづいて、次は9条へ、魔手がのびる。

なのに国会は静かです。野党はどうしているのですか。あまりにも静かです。予算委員会をみてもごく一部を除いて迫力がありません。ことに野党第1党の中道に熱がありません、タカ派、高市政権の思惑かどんどん進んでいく。一町民としては、軍事増強、自由の制限、ふたたびあの暗い時代がやってくるのではないかと不安でたまりません。

<時代が変わったので>。都合よい言葉です。高市さんは宮沢喜一元総理の<わが国は兵器の輸出で金を稼ぐほどおちぶれていない>に対し<時代が変わった>とうそぶき、さらにお金を稼いで何が悪い>と開き直る。中道改革連合の旧立憲はこれまで憲法を守る、9条を守る、で先頭に立っていたのが、今年は中央の護憲記念集会にも参加せず<時代の変化にあわせて改憲論議を深化さすべき改憲賛成を臭わせ>と時代のせいにする。

中央での護憲集会は新聞によれば主催者が中道に参加を呼び掛けたが、誰も姿を見せなかったそうで、また国会前での改憲反対デモにも距離を置いている、と言います。

その中道は集団的自衛権は合憲だ、とまで言い出す。あれだけこだわってたのにコロッと変わる。これも時代が変わったからなんですかね。立憲民主党創設者の枝野さんまでが<安保法制に違憲部分はない、変えなくていい>と言い出す始末。

憲法9条に自衛隊を明記してもいいのではと党内でささやかれているらしいですが自衛隊ということばを憲法に付け加えることは単に記されるだけではありません。改めて内外に軍事強化を宣言するような意味をもちます。

中道というあいまいなことばで生命線でもある憲法や集団的自衛権違憲を捨てていく、中道とは聞こえはいいが軸足がないということです。右左どちらへでも浮草のように揺られていく、軸のないコマです。これでは国民民主党と変わりありません。リベラルな人びとが離れるのは当然です。参議院の立憲の人たちが合流しないのも当然のことでしょう。

山花郁夫さん、長妻昭さん、阿部知子さん、逢坂誠二さん、福山さん、本当にこれでいいのですか。もういちど立憲民主党に戻って、高市政権と毅然と対峙すべきです。

集団的自衛権は平和憲法の肝です。



プラカードを掲げて改憲や戦争への反対をアピールする参加者たち。3日、東京都江東区で（西村まゆみ撮影）

東京新聞より